



2023. 12 第 319 号

QRコード▶



URL <https://aya.ja-miyazaki.jp/>



第 42 回 農業祭

- ・管理課・監査課 ☎ 77-1212 ・貯 金 ☎ 77-1213 ・貸 付 ☎ 77-1214
- ・青色申告 ☎ 77-4141 ・共 済 ☎ 77-1681 ・資 材 課 ☎ 77-2839
- ・給油所 ☎ 77-0144 ・生産指導課 ☎ 77-2216 ・販売課 ☎ 77-2241
- ・共同育苗センター ☎ 77-2737 ・農機具センター ☎ 77-2738 ・販売課(外販部門) ☎ 77-5113
- ・加工場 ☎ 77-1162 ・畜産課 ☎ 77-3328 ・ライスセンター ☎ 77-2424
- ・開発センター ☎ 77-0100 ・Aコープ店舗 ☎ 77-2360 ・キャトルステーション ☎ 77-2366

JA 綾町 綾町大字南俣480-1 (代表電話) ☎ **77-1212** FAX **77-2445**

外出先でのバンク・バッテリー上がり等は(ロードサービス)

夜間・休日の事故受付は

 **0120-063931**

 **0120-258931**

プロパンガス (夜間・休日・緊急時)

農機具センター専用携帯 (緊急時※別途料金発生)

080-8392-0073

090-5128-3440



第42回農業祭開催



11月12日（日）に第42回農業祭が綾町健康センター前広場にて開催されました。昨年は規模縮小の中での開催となりましたが、コロナ以前の規模で行われました。

天候に恵まれた中、開催となった第42回農業感謝祭。出店では、うどんや牛すじ煮込み・ガネ・牛鳥豚の炭火焼き・精肉・農業機械・有機農産物の販売・展示会、組合員抽選やビンゴ大会などの開催され、ステージではみやざき犬のダンスや郷土芸能披露、子供連絡協議会主催のイベント、チキンナンゴーのお笑いライブが行われました。

1日の開催でしたが、多くの方々に来場していただきました。ご協力頂いた皆様、お疲れ様でした。深く御礼申し上げます。



J A 綾町年金友の会 第42回農業祭グラウンドゴルフ大会

J A 綾町年金友の会第42回農業祭グラウンドゴルフ大会が、令和5年11月12日に三本松広場にて開催されました。天候に恵まれ、皆さん日頃の練習の成果を競い合っていました。

参加していただいた皆様ありがとうございました。
試合結果は、下記のとおりとなっています。

【男性の部】

優勝 内村 清美様
第2位 児玉 盛幸様
第3位 中原 一弘様

【女性の部】

優勝 守屋 秀子様
第2位 大隈 トミ子様
第3位 森園 ミヤ子様



年末年始の業務案内について

事業所名	12/26 ～ 29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4		
	月～金	土	日	月	火	水	木		
管理課・金融共済課	通常営業	休業					仕事始め(通常営業)	通常営業	
畜産課		休業							
資材課		午前中営業	休業						
農機具センター		休業(電話対応)							
給油所		8:00～ 19:00	休業			8:00～ 17:00 (配達無し)			
育苗センター		12/28～休業							
販売課		胡瓜選果場	通常営業	午前のみ	休業	午前のみ			通常営業
		産直	休業						
		果樹	休業						
ATM		9:00～20:00							
Aコープ	通常営業	9:30～ 17:00	休業			通常営業			

綾町イオンの森づくり～育樹活動～

10月上旬、J A 綾町の坂元芳郎組合長と関係者は、地域貢献活動の一環として綾町と公益財団法人イオン環境財団が主催の「綾町イオンの森」の育樹活動に参加しました。

綾町イオンの森は、綾町の尾立地区にあり人と自然の共生を目指すユネスコエコパークらしい森の再生を目指し、綾町と同財団が2013年より植樹活動を行ってきました。

去年は植樹活動でしたが、今年は植樹された樹木の管理作業を行いました。参加者は10月らしい秋晴れのもと汗を流したあと振る舞いを食べながら交流を深めました。



第 66 回 J A 宮崎県青年大会開催



10月25日(水)にJ A A Z M大ホールにてJ A宮崎県青年大会が開催されました。

J A綾町から青年の主張の部に田上友喜副部長が出場しました。惜しくも最優秀賞には届きませんでしたが素晴らしい発表でした。

また、J A綾町はフォトコンテストや看板コンクールに応募し、看板コンクールは優秀賞を頂きました。

御協力くださった皆様、本当にありがとうございました

青年の主張

「地域の仲間と育てる担い手としての自覚」

J A綾町青年部 田上 友喜

「今、自分が本当にやりたいことは何だろう」

私は大学を経て、大学院まで進み研究者を目指していました。

大学では生命科学を学び、大学院に進学してからは施設園芸学について学び、日々の講義と研究課題に取り組んでいました。それに加え、外国人留学生の世話や人間関係の難しさなどもあり、研究もうまく進められず悩んでいました。

私は「このまま将来夢に向かって突き進んでいけるだろうか」と不安で押しつぶされそうになっていました。

しかし、そこには尊敬できる先輩や新しいことを学ぶ楽しさも確かにありました。

私が居た研究室では、先進事例を学ぶため実際の先進的な農家へ視察研修する機会が何度もありました。最先端の農業や技術を知れば知るほど、「今の持っている情報や知識を駆使して、自分の手で農業をやれたら楽しそう、自分でやりたい」という思いが芽生えました。



「帰って農家したいと思うけど、どうやろか？」

農家である父は否定することもなく賛同してくれました。両親もいろんな葛藤があったと思いますが、あの時やりたいようにさせてくれたことにすごく感謝をしています。

25歳で大学院を中退後、帰郷してすぐに就農しました。就農初年度から父とは別経営で農業を始め、綾町の基幹作物である胡瓜の栽培を始めました。

就農と同時に消防団やS A Pに所属し、翌年には農協青年部に加入するなど地域・組織活動にも積極的に参加しました。日々勉強の農業には最高の場です。

私は今、自分の農業経営とは別に3つの活動に重きをおいています。

1つ目は、青年部活動です。

今年から副部長に就任し、私は小学生へのお米学習部長として活動しています。お米学習教室は、綾町青年部としては20年を超える長年の歴史ある活動となっています。お米は無農薬で栽培し、堆肥撒き、田植え、稲刈り、青年部のおじちゃんと語る会などの授業を行ってきました。昨年からは、小学校からの要望もあり野菜作りも少し始めていました。私はお米学習部長として、今までの取り組みを継承しつつ、綾町で作られている作物について知ってもらい、更に農業の楽しさ、やりがい、カッコ良さを伝えられないか考えました。そこで、昨年からは始まっていた野菜作りを更に本気で取り組むことにしました。

胡瓜やトマトなど、合計7種類の野菜を無農薬で栽培しました。畝や作物の配置などもしっかりデザインし、畑の周囲には障壁作物としてソルゴーも播種しました。小学生は、定植してから日々の管理を行うために圃場に出向きお米と野菜の成長を観察しました。できた野菜は実際に家に持って帰り、家族と一緒に食べてもらいました。子供たちは野菜作りの大変さや収穫する喜びを学びました。また、地元の直売所である綾ほんものセンターの一角で販売にも挑戦しました。

販売に向けてポップやチラシ、アンケートなどを作り、販売するための工夫をしていました。自分たちの手で作った野菜を自ら販売し、完売した時には子供たちから喜びの歓声が起こりました。あの時の満足げな表情は忘れられません。

この教室で学んでいるのは子供たちだけではなく、担任の先生もまた食について良い学びとなっています。青年部盟友は何も知らない小学生に分かりやすく野菜の特徴や管理作業を一から教えることに悪戦苦闘し、伝えることの難しさ

を痛感しました。また、経営作物以外の野菜についての理解を深める良い機会となりました。

これからも綾町らしい食育について取り組んでいきます。

2つ目は『AUP会（エーアップ会）』です。

AUP会とは、同じ志を持った胡瓜生産者と環境制御や植物生理、土作りについて理解を深め、最新の栽培技術を実践していけるよう自主的に勉強を行っているスタディクラブです。

AUP会のAは、『綾（AYA）』のA、施設栽培のこれからを担う『エース（ACE）』のA、そして高品質な野菜『A品』のA、これらを『UP』、高めていこうという想いを込めて名付けました。私が会長を務め、この会は今年で4年目を迎えました。青年部の盟友と3人で始め、現在は9名で活動しています。

活動として、月2回、仲間の圃場を巡回したり、飲み会などで情報共有したりしています。私が15年前に大学院で学んだ先端技術や考え方が今の農業の現場に導入されています。あの時の学びや苦労は無駄ではなかったと確信しています。また、農閑期には先進技術を導入している県外農家へ現地視察を行っています。活動にかかる費用などは全て自己資金で賄っています。現地研修では、毎回、農協指導員や役場農林振興課、普及センターの普及員にも同行してもらい、現場が今必要としているものを知ってもらったり、広い視野を持つための重要な場となっています。このスタディクラブを始めてから、長い栽培期間中のモチベーションを高く保て、何よりほとんどの会員が増収しています。これからもより良い経営が出来るよう栽培技術を磨き、この仲間と切磋琢磨していきます。

3つ目は被覆材展張部隊『ビニボ協力隊』です。

「被覆材（ビニールとポリ）の展張を協力する部隊」として名付けました。

農家の高齢化や担い手の減少という農業において喫緊の課題がある中、このような部隊ができることは大変望ましいことだと思っています。

これまで、綾町農協の胡瓜部会である野菜振興協議会において、各地区に班分けされ、グループ展張が行われてきました。しかし、町内でも農業者の高齢化やポリ展張の増加に伴い、その活動も維持することが困難となっています。そんな中、私の元に、「限定的な地区でもいいので被覆材の展張グループを作れないだろうか？」という話がありました。私としてもこの問題はこの地域で農業をする若い人達皆の問題だと思い、青年部盟友やAUP会の仲間を中心に声を掛けさせてもらい、現在15名が在籍しています。今年で二年目になり、年間14～15件の実績となっています。

展張をすることは、簡単そうに見えて難しく、そして危険を伴います。各農家によって、ハウス構造が異なったり、依頼者側の段取りの仕方によって作業の効率は変わってきます。隊員間で展張技術の差や性格が出るため、隊長として展張要領の細かい説明や言葉かけには気を付けたり、経験豊富な隊員には若い隊員に技術を伝えるようお願いしています。この部隊に所属する全員の展張技術が向上し、その作業の中で様々な情報共有が生まれていくことを期待しています。

人に教えることで気づきが生まれ、それをまた自分のハウス展張や経営に生かすことができるとしています。

これらの3つの活動は自分の経営にとって大きな刺激となっています。

現在、私と妻の他にパート9名を雇用し、47aの施設で胡瓜を栽培しています。パートは男性3名、女性6名で20代から70代まで各年代の方が働いています。

父が病気を患ったのをきっかけに、父の施設24aを譲り受け現在の面積となりました。

現在では毎年反当26トン程の収量が見込めるほどになってきましたが、栽培技術はもちろんのこと、労務管理や経営面においても毎年課題を洗い出し、次の年に実践し、更に高収量が得られるように改善を重ねています。

労務管理面では「心も体も健康で働いて楽しい職場」になるよう、就労時間は融通が効くようにし、休憩時間を徹底してとっています。楽しい職場であれば自ずと人は集まり仕事はかどります。

また、私の農園では2年前に1人の研修生が1年半程社員として研修し、現在では独立して胡瓜栽培を行っています。これからも後進の育成にも取り組めていけたらいいなと考えています。そうした研修生が綾町に定着し、新規就農者やパートなどの農業従事者が増えれば、産地として維持していけます。私たちが綾町の農業の担い手なんだと自覚していくことが大事だと考えています。

厳しさを増す農業情勢の中、産地を維持していくためには若い農業者の新しく勢いのある取り組みはもちろん、JAや行政の課題に対するきめ細やかな対応とこれからを担う若い生産者との綿密な連携が大切だと考えています。

今の時代だからこそ柔軟に変化していくことでこの難局を乗り越えられると思っています。

プライベートや農業経営に加え、沢山の活動に積極的に取り組むことは大変さもありますが、やり甲斐もあります。

そう思えるのは、青年部盟友や同じ思いを持つ仲間、従業員、そしていつも支えてくれる家族がいるからです。楽しく明るい農業にするために、これからも主体性を持って行動を起こしていきます。

ご清聴ありがとうございました。



第24回 J Aバンク宮崎 年金友の会グラウンドゴルフ大会

第24回 J Aバンク宮崎年金友の会グラウンドゴルフ大会が、令和5年10月24日に宮崎県総合運動公園にて開催されました。

この大会は、J A年金友の会会員同士の親睦を深めることを目的に、4年ぶりに開催されました。J A綾町では、予選を勝ち抜いた上位35名に参加して頂きました。

試合結果は、下記のとおりとなっています。



【各コース入賞者】

Bコース 第2位 上村 アキ子 様 Cコース 第4位 守屋 徳明 様 Hコース 第2位 関山 勝義 様

農作業安全キャラバン綾町を巡回



宮崎県における農作業事故は、他県と比べ死亡・傷害事故共に上回っている状況にあります。9月、10月を「秋の農作業安全月間」と位置づけ、啓発活動の一環として、今年も広報車で市内キャラバンを実施いたしました。農作業事故は他産業と比較しても事故発生比率が高くなっており、組合員の生命・生活・農作業経営へのリスクを回避するため、今回のキャラバンでは農作業安全への意識向上および安全対策の徹底を呼び掛けました。

第62回宮崎中央畜産共進会

令和5年11月14日（火）にJ A宮崎中央家畜市場にて、第62回宮崎中央畜産共進会が開催されました。

共進会には、各地区自慢の育成牛を出品し、序列を競い合いました。今回の共進会は月齢によって1類が7頭と2類が10頭に分かれて審査が行われ、綾町からは、3頭出品致しました。結果については下記の通りです。

育成牛の部1類						
12ヶ月～16ヶ月						
等級	氏名	血統				
一等賞	中原 重文	第5安栄	×	菊広土井	×	勝平正 月齢 16.6
一等賞	中原 重文	耕富士	×	美徳国	×	福之国 月齢 16.8
頭数	2頭					
育成牛の部2類						
17ヶ月～22ヶ月						
等級	氏名	血統				
優等首席	淵本 太一	富久竜	×	泰美国	×	美徳国 月齢 19.6
頭数	1頭					



令和5年11月期綾町子牛品評会

令和5年11月14日（火）にJ A宮崎中央家畜市場にて、第62回宮崎中央畜産共進会が開催されました。

共進会には、各地区自慢の子牛を出品し、序列を競い合いました。今回の共進会は去勢牛15頭、雌牛42頭で審査が行われ、綾町からは、12頭出品致しました。結果については下記の通りです。

雌牛の部							去勢牛の部										
等級	氏名	血統					等級	氏名	血統								
優等5席	日高 和幸	富久竜	×	勝平正	×	勝忠平	×	平茂勝	優等3席	日高 和幸	二刀流	×	耕富士	×	秀菊安	×	忠富士
優等6席	淵本 太一	富久竜	×	勝平正	×	忠富士	×	安平	1等賞	淵本 太一	清正秀	×	忠高盛	×	忠富士	×	安平
優等8席	後藤 明	二刀流	×	耕富士	×	満天白清	×	安福久	1等賞	中原 重文	二刀流	×	耕富士	×	菊広土井	×	福之国
優等10席	押田 和義	耕富士	×	美徳国	×	安平	×	隆桜									
1等賞	松元 広人	秀百合久		美徳国		忠富士		福桜									
1等賞	藤元 教利	二刀流		耕富士		美徳国		忠富士									
2等賞	川上 芳明	二刀流		秀菊安		美徳国		忠富士									
2等賞	郡山 和志	清正秀		耕富士		福之国		忠富士									
2等賞	郡山 和志	二刀流		耕富士		美徳国		忠富士									

令和5年11月期子牛セリ市結果

11月10日～11日の2日間、J A宮崎中央家畜市場に於いて開催されました。

今回のセリ市には、綾町より雌子牛34頭、去勢牛42頭、合計76頭が上場致しました。

セリ市につきましては、前回に比べて660円安くで取引されました。

畜産基盤維持の為に生産性向上並びに母牛更新が必要になりますので、優良繁殖雌の保留と導入に努めましょう。購買者も宮崎中央家畜市場（綾町）特有の血統を望んで購買に来られますので、期待に沿えるように指定交配を遵守し、清正秀・二刀流中心の母牛群を構築できるように御協力下さい。

綾町価格

性別	1日目	2日目	全体平均	市場平均	差額
雌	484,289	481,873	483,224	469,779	13,445
去勢	543,884	500,953	526,507	525,472	1,035
平均	518,150	492,009	507,143	501,591	5,552

3町比較

性別	綾町	国富町	差額	高岡町	差額
雌	483,224	460,243	22,981	514,021	-30,797
去勢	526,507	490,138	36,369	564,717	-38,210
平均	507,143	476,229	30,914	541,760	-34,617

価格対比

性別	前回	差額	前年同期	差額
雌	465,369	17,855	540,532	-57,308
去勢	541,750	-15,243	635,713	-109,206
平均	507,803	-660	595,333	-88,190

キャトルステーション

性別	頭数	平均	1日増体
雌	13	406,746	0.76
去勢	17	528,452	0.89
平均	30	475,713	0.83

令和5年11月（めす）【種雄牛別】

順位	種雄牛	平均体重	平均日齢	平均価格
1	白隆鵬	281	290	561,300
2	二刀流	261	294	533,846
3	清正秀	271	290	503,856
4	満天白清	274	295	494,230
5	耕富士	279	285	475,255
6	富久竜	282	287	460,488
7	鈴之助	277	299	457,490
8	神照栄	264	296	422,033
9	福晴茂	279	282	407,061
10	安秀平	224	298	404,800

令和5年11月（去勢）【種雄牛別】

順位	種雄牛	平均体重	平均日齢	平均価格
1	孔明桜	316	287	780,450
2	耕富士	305	227	603,795
3	第5安栄	309	278	595,100
4	白隆鵬	289	283	564,929
5	福晴茂	303	272	547,319
6	宗守富士	309	280	525,800
7	鈴之助	286	276	522,400
8	二刀流	290	280	520,722
9	勝光美	305	294	507,833
10	清正秀	281	283	501,944

令和5年11月（めす）【母牛別】

順位	母牛系統	平均体重	平均日齢	平均価格
1	二刀流	289	285	649,000
2	秀菊安	280	288	479,424
3	耕富士	266	292	469,113
4	勝光美	285	289	461,843
5	美穂国	269	289	460,563

令和5年11月（去勢）【母牛別】

順位	母牛系統	平均体重	平均日齢	平均価格
1	二刀流	333	286	762,300
2	富久竜	287	283	571,083
3	耕富士	295	281	555,649
4	美穂国	299	276	550,451
5	満天白清	293	283	529,700

きゅうりの管理について

【今後の管理】

1.) 抑制・半促成栽培について

○抑制栽培

抑制栽培で作終盤を迎えられる方もいらっしゃると思います。作終了予定の方につきましては、収穫終了の20日前を目安に側枝の摘み込み作業を行っていきます。また、作終了後残渣をハウス外に持ち出す場合は、十分枯らしてからハウス外に持ち出しをお願いします。

○半促成栽培

- ①定植前にはスムーズに活着を促すためハウス内を閉め切り地温をできるだけ確保してから定植をお願いします。
- ②十分に地温が上がらなかった場合は早めのマルチ準備に努めましょう。
- ③定植後から活着までの灌水管理については、定植後は株元灌水7日程度行います。
- ④活着後は灌水過多になると徒長する原因にもなりますので灌水管理に注意し、徐々に控えめにしていきましょう。

2.) 促成栽培について

- ①これから暖房機の稼働時間は徐々に長くなりますので、葉からの蒸散量が多くなり、茎葉が硬くなり枝も伸びずらい原因となってしまいます。茎葉を柔らかく作るために暖房機の稼働時間が増え始めた頃から徐々に灌水量を増やすなど、灌水量を見直しましょう。
- ②焼け果については、曇天からの晴天を繰り返すと多発傾向にあります。
急な多灌水・急なハウスの閉め込みなどの管理を行うとハウス内の温度と葉や果実との間に温度差ができるため、結露し病気の発生・焼け果の原因となってしまいます。
・早朝の二重ビニールはゆっくり開け、冷気を直接実に当てないようにします。
・果実が長時間濡れている場合でも焼け果の発生が予想されます。早朝（5～7時）加温を活用し18℃以上で乾かすようにします。
- ③地温が下がることにより、根からの養分吸収が不十分になり草勢低下にも繋がります。根から養分吸収がしにくい分、葉面散布等で補ってあげましょう。

3.) 病害虫対策について

○菌核病

菌核病については、低温多湿の条件で発生しやすく、発生適温として約20℃となっています。発生した場合は農薬での防除だけでは止まりにくいいため、加温機の設定温度を上げ湿度を下げる管理とします。

○つる枯れ病

春先にかけて多くなるつる枯れ病ですが、去年は12月より発生の見られる圃場もありました。つる枯れ病発生前に予防を行いましょう。

株元までにかかるように農薬散布を行い、特に主茎やつるは徹底的に予防を行います。農薬についてはつる枯れ病に予防効果のある農薬を散布しましょう。

○べと病

べと病については、ムラをなくし送風や暖房機を積極的に使い湿った空気を循環させましょう。農薬による防除について、比較的浸透移行性の高い農薬で散布しべと病を抑えることが大切です。

4.) きゅうり黄化えそ対策について

今作は、11月まで気温の高い日が続き害虫の発生も多く感じます。黄化えそ病については、特に今年は10月～11月の発生が増加傾向にありました。抑制栽培終了後の植替えの方は後作に向けて、十分にきゅうりを枯らした状態で残渣の持ち出していただき、20日程度の蒸し込みを行ってください。また、抑制栽培・促成栽培共に外気温が寒くなるためスリップスによる飛び込みは少なる可能性があります。春先までにハウス内でスリップスを増やさないよう引続き防除をお願いします。

【作終了前・作終了後のスリップス対策】

- ①作終了前までに重点防除（ローテーション防除）を行い、圃場内スリップスの密度低減に努めてください。
- ②摘葉・摘芯・摘果・つる等の胡瓜残渣を圃場外に持ち出す場合は、残渣をビニールで必ず被覆してください。圃場から離れた所に残渣を捨てる場合については移動の際の被覆と現地での被覆を必ずお願いします。

露地野菜生産者のみなさまへ

昼夜を通して寒さが厳しくなる時期ですが、長期予報は今冬も暖冬傾向と予想しています。今後も季節外れの高温が続けば、生育の異常や害虫の被害の長期化に注意が必要です。

年々本格的な冷え込みは遅くなる傾向にありますが、一時的に厳しく冷え込むこともありますので、体調にも留意され管理作業を行って下さい。

これからの管理

レタス



生育適温は 15 ～ 20℃ です。10℃ 以下、25℃ 以上では生育緩慢になります。

0℃ 以下では低温障害が発生するので、トンネルを設置し、ビニールの被覆を行って下さい。また、晴天の日中はトンネル内の気温が高くなりますので、温度調整のためビニールの開閉を必ず行って下さい。

収穫の際は、品温が高いとしおれ等の品質低下につながりますので、気温の高い時間帯の収穫を避け、収穫・箱詰めしたものは直射日光の当たらない涼しい場所で保管をお願いします。

白ねぎ



気温の低下とともに、軟白しにくくなります。暖かい間にこまめに土寄せ（1回の土寄せ目安 5～7cm）を行い、軟白部分の長さを確保して下さい。追肥は、生育状況に応じますが、出荷前 30日頃を目安に、最後の追肥として「粒王7号」を 2～3袋 / 10a を施用して下さい。また、仕上げ土寄せは襟首（新葉の首元部分）までしっかり行って下さい。出荷基準を守り、適期の収穫に心がけて下さい。

ブロッコリー



12月中旬頃から収穫量が増えてくると思います。気温が下がるに従い花蕾の肥大はゆっくり、締まった生育をするようになりますが、急に暖かくなったり、降雨後などは花蕾の肥大が早くなることがあります。収穫遅れにならないよう適期の収穫をお願いします。

追肥は、生育の状態を見て施用して下さい。

気温の高い日が続く、害虫発生が多発・長期化が予想されます。また、天候も安定しない時期になり、花蕾の病害発生も予想されますので、曇雨天が続くような時は注意をお願いします。

花蕾の中に害虫が隠れていることもありますので、収穫・出荷の際は注意して下さい。

不明な点がございましたら、ご相談下さい。

ブロッコリーで使用できる化学農薬としてカウントしない製剤

製剤名	作物名	適用害虫	希釈倍数	使用量	使用時期	使用回数
デルフィン顆粒水和剤	野菜類	オオタバコガ	1,000倍	100～300 l	発生初期 但し収穫前日	—
ゼンターリ顆粒水和剤	野菜類※1	ヨトウムシ	1,000倍	100～300 l	発生初期 但し収穫前日	—
スピノエース顆粒水和剤	ブロッコリー	コナガ	5,000倍	100～300 l	3日前まで	3回以内
Zボルドー	ブロッコリー	花蕾腐敗病	500倍	100～300 l	—	—
アドオンE	野菜類※2	殺菌剤・殺虫剤	500～ 1,000倍	10～20ml / 散 布量 10 l		添加

※1 はくさいを除く

※2 上記4剤の効果を高めるために使用。

人参



畦の肩部の土が流れ、表面が露出すると、露出部が青くなりますので、軽く土寄せを行って下さい。株が混み合っている場合は、株間 10cm を目安に行い、秀比率の向上に努めて下さい。

収穫・出荷後、貯蔵中に腐敗が毎年発生しています。収穫を行う際は、雨上がりの直後や土壌が乾燥していない時は避けて下さい。また、収穫物の残さや雑草、土の塊などの混入も貯蔵中の腐敗を助長する要因になりますのでご注意ください。

チンゲン菜



適期収穫を行って下さい。袋詰をしますので、規格に沿って出荷をお願い致します。

寒さが厳しくなる時期ですが、施設の場合、寒暖差や曇雨天続きなどによる多湿や害虫の食害痕から腐敗が発生することがありますので、可能な限り換気をお願いします。また、露地でも雨が多い場合は、株元からの腐敗も考えられますので、圃場準備の際は排水良好な圃場選定と排水溝や排水口の設置を行って下さい。

第42回 農業祭が開催されました。

11月12(日)に健康センター前にて第42回農業祭が開催されました。本年の開催は1日となりましたが、従来通りの規模で開催されました。露地野菜では審査の結果、以下の方々に受賞が決まりました。

金賞 (1名)	吉野 代里子	様
銀賞 (1名)	松井 農園	様
銅賞 (1名)	藺田 タミ子	様

受賞された皆様おめでとうございます。異常な高温続きと天候不順により計画通りの作付けが難しい中、多くの農産品の出展にご協力頂きありがとうございました。

農産物を出荷される生産者の皆様へ

栽培管理記録簿提出の遅れが増えています。産直及び外販へ出荷される方は、必ず出荷3日前までには栽培管理記録簿の提出をお願いします。用紙は販売事務所に準備していますので、必要な方は事務所まで取りをお願いします。

果樹園の管理

生産者の皆さん毎日の作業お疲れ様です。12月の果樹管理は以下の通りです。

1. 日向夏の管理

1) 夏秋梢の除去

夏芽、秋芽の除去を行って下さい。

方法は春枝の基部から間引き剪定を行って下さい。また、強い立ち枝についても根元から除去して下さい。

2) 病虫害防除

年明け後から収穫となりますので、各農薬の収穫前使用日数に注意が必要です。

防除農薬がご不明の場合は生産指導課課(77-2216)までご連絡ください。

使用目的	使用薬剤	使用倍数	使用時期
落果防止	マデックEW	3000倍	11月下～1月中旬：1回
展着剤	ササラ	3000倍	

※成熟期以降の薬剤散布で、特にハウス、無袋果実への散布の場合は、乾きが遅いと、サビ状果実が発生する恐れがありますので、展着剤を混用しましょう。

2. スイートスプリングの管理

1) 病虫害防除

収穫終了後はハダニ、カイガラムシ対策として、冬季マシン油を必ず散布しましょう。

2) 剪定の実施

収穫終了後に、内部まで光が入るように間引き剪定を行います。強い剪定を行うと樹勢が落ちる場合や、翌年発生した夏芽の管理が困難になります。若干弱めの剪定としましょう。また、病害被害枝は徹底して切除しましょう。切り口にはトップジンMペースト等を塗布し、アルミホイルで覆うと枯込を防ぐことができます。

3. 落葉果樹類の管理について

1) ハウスぶどう

樹液の流動が止まった1月上旬より剪定を実施して下さい。また、剪定時は発芽後の樹形を考えて誘引も実施して下さい。

2) キウイフルーツ

1月中旬に剪定を終わらせます。

中果枝、長果枝を主体に切り返しと間引き剪定を併用して行います。3年以上の側枝になると結果部がはげ上がり、また負け枝の原因や衰弱枝になりますので、充実した長果枝に更新します。

※農薬の使用については、使用基準(適用作物、使用倍数、使用回数、収穫前使用日数等)を守って使用してください。
連絡先……生産指導課 電話 77-2216

女性部だより

NO. 96

椿



今年も、残すところあとわずかとなりました。そろそろ竜（辰）が出番の準備をしている頃ではないでしょうか。11月の中頃まで暑い日もありましたが一気に寒くなり、動きの読めない季節のうつろいに農作物への影響が出ないか心配なところ です。今年の冬はスーパーエルニーニョ現象が発生するとの予想があり、暖冬になるとの見方もあるようです。

師走に入り、何かと慌ただしい日が続きますがバランスの良い食事をとるなど自己免疫力を高め、感染予防を心がけましょう。皆様、良いお年をお迎えください。



「JA宮崎県女性協 おもと部員の集い」

おもと部員の集いが、宮崎市民文化ホールで開催され、JA綾町女性部からは、おもと部員の【柳田美佐子さん】が落語を披露されました。

約700名の観客の中で、堂々とした発表に、会場からも「すごいね〜」「ほうー」といった声があちこちから聞こえてきました。

声色を変えて何人もの役をしたり、落語の内容もおもしろく、時折笑い声が起こりました。



「農業祭」

農業祭でうどんとそばの販売をしました。コロナ明けで久しぶりの販売となりましたが、たくさんの方が来場され、おいしいと言って下さいました。

「1日間だけの開催でしたが、天候にも恵まれ久しぶりに賑わっていたのではないのでしょうか。女性部も大盛況でした。ありがとうございました」

(児玉部長)

「文化祭」

小田爪支部が「ボトルケース」と「バンダナで作る巾着袋」、おもと支部が「フラワーアート」、「絵画」、北麓支部、フレッシュミズからもそれぞれ作品を出展しました。



令和5年12月 主な行事			Aコープ	廃プラ 受入日
1	金	第68回宮崎中部地区枝肉共励会	いい肉の日市	
2	土		↓ポイント5倍	
3	日			
4	月		ちょっぎり市	
5	火		↓	ビニール
6	水		ポイント3倍	
7	木		忘年会	
8	金	定例理事会 成牛市	↓	
9	土	子牛セリ市	↓ポイント5倍	
10	日	↓		
11	月		ちょっぎり市	
12	火		↓	ポリ
13	水	子牛品評会	ポイント3倍	
14	木			
15	金		ポイント3倍	
16	土		プレミアム商品券販売	
17	日			
18	月		ちょっぎり市	
19	火		↓	特別回収
20	水		ポイント3倍	
21	木			
22	金			
23	土		クリスマス	
24	日		↓	
25	月		↓	
26	火			
27	水		ポイント3倍	
28	木		大歳の市 ポイント5倍	
29	金	仕事納め式	↓	
30	土		↓	
31	日		↓	